

地域で支えあう共助の仕組みづくり



【片平学区】

■世帯数：4,251 世帯

■人 □：10,555 人

■面 積：1.424 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 安心・安全で快適なまちづくり：防犯活動強化、防犯情報の提供、防災意識の向上、防犯・防災パトロール、防災訓練の実施
- ・ 地域での支え合う共助の仕組みづくり：ふれあいネットワークの具体的展開、非自治会員への加入奨励、老人クラブ・ボランティア会・子ども会の拡充と地域活動への積極的参加要請、盆踊りや運動会等を通じた住民間のコミュニケーションの深化、敬老会・成人式等への積極的支援、地域福祉活動の推進、救急カプセルの各戸設置の検討推進
- ・ 住環境向上への意識改革：環境清掃活動およびクリーンキャンペーン活動の実施、ステーションへのゴミ出しマナー向上推進、新聞・雑誌等の学区資源リサイクル回収活動のPR
- ・ その他：まちづくり人養成講座の開講、新規コミュニティ作りと既存コミュニティの活性化、緑社会福祉協議会や地域の社会福祉法人・NPO 法人・地域コミュニティ団体等との連携と相互支援強化

【住民へのPR方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

片平学区の一部の自治会から水平展開し、学区全体へと拡がりつつある。さらに、他学区への展開も進んでいる。

2 きっかけ、背景

平成 22 年に孤独死が連続して 2 件発生した。このことをきっかけとして、地域のコミュニケーションを深めると共に、健常者、障害者の区別のない、地域で支え合う共助の仕組みを作りたいとの思いから活動を始めた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生委員児童委員、女性団体・女性
会、老人クラブ

(2) 他団体との協力

緑区社会福祉協議会、社会福祉法
人ニコニコハウス

(3) 運営協力

自主的に参画してもらうよう仕
掛けている。

4 実施のスケジュール

H22 年 地域支え合いマップ作りの会設
6 月 立。緑社会福祉協議会との協働

H23 年 活動開始（愛・地球博社会貢献
10 月 活動基金採択）。以後、月 1 回の
定例会議の開催

H24 年 コミュニティカフェ「たまり場
8 月 いっぱく茶屋」の開設
・ 1 回 100 円で参加可
・ 週 2 回実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 地域支え合いマップの作成
- ・ 「たまり場 いっぱく茶屋」の開設
- ・ 住民意識の高まり、住民間の交流の深まりが見られる。
- ・ 担い手の増加。

(2) 苦労した点

- ・ 1 つのプロジェクト（たまり場運営）が始まった段階であり、今後の展開を期待する。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 活動の継続、活動資金の確保のために賛助会
員を募集する。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・ 緑区社会福祉協議会とタイアップし、他学区との情報交換会を実施している。

